

(令和6年度)

決算特集号

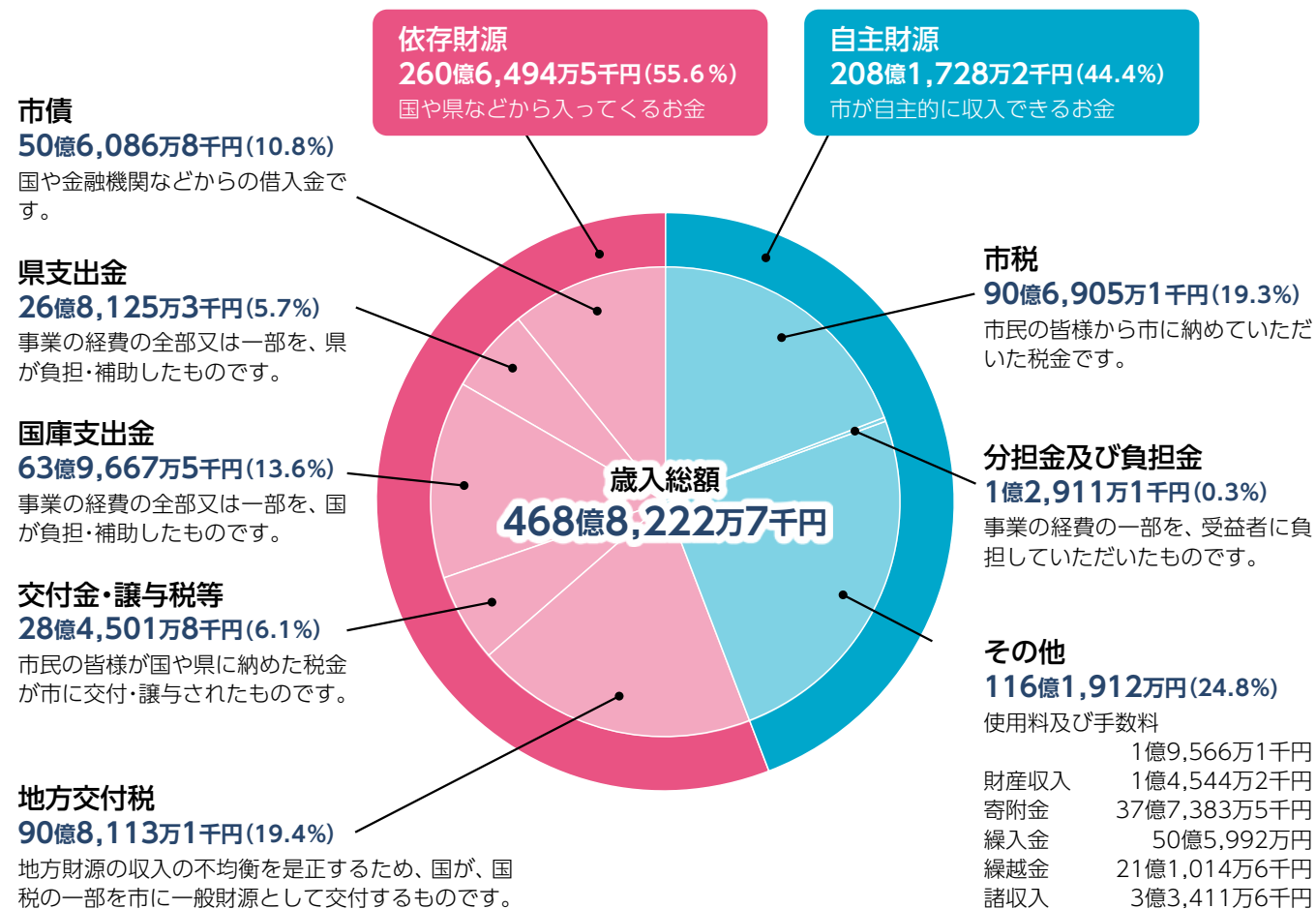
けっさんとくしゅうごう

令和6年度決算についてお知らせします



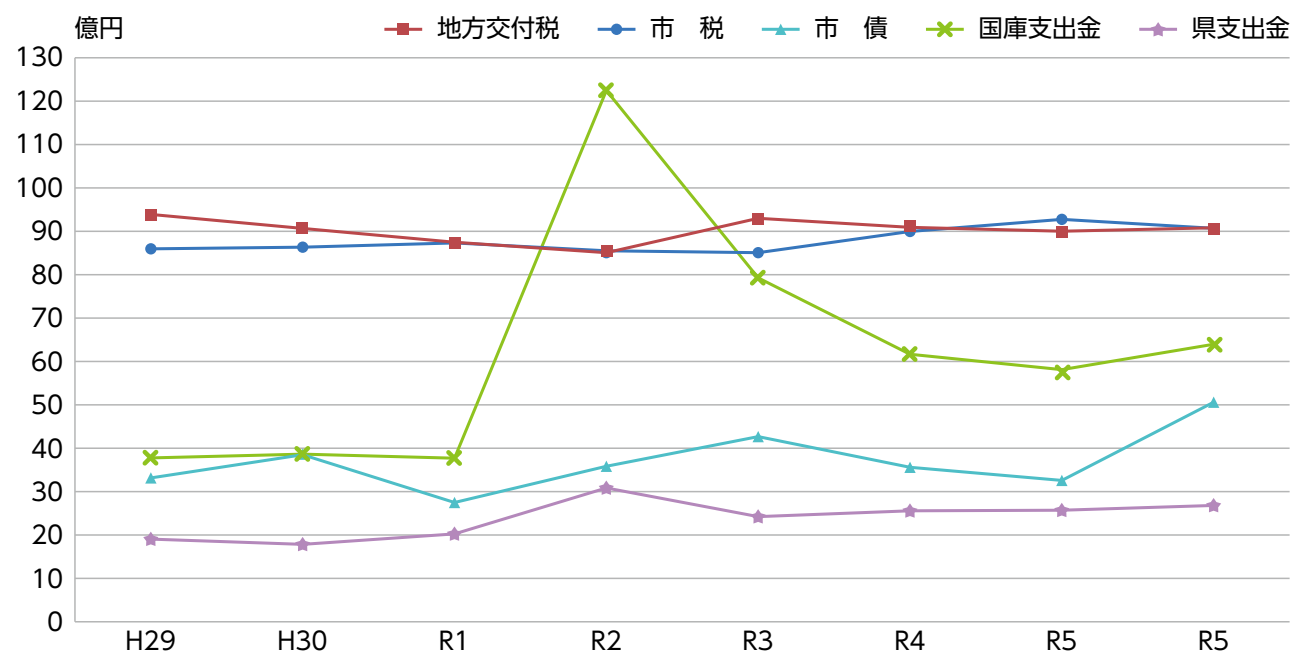
広報ふえふき
Fuefuki

一般会計 歳入の内容



一般会計 主な歳入科目決算額の推移

自主財源の根幹である市税については、2億649万6千円減少しました。これは主に定額減税の影響によるものです。この減少分については、交付金で補填されています。依存財源については、御坂中学校などの公共施設改修工事に伴い、国庫支出金が5億8,533万9千円、市債の借入が18億274万4千円増加しました。



令和6年度 決算概要

令和6年度決算が、市議会第3回定例会で審議され、認定されました。ここでは、市民の皆様に納めていただいた税金がどのように使われ、また、市の財政が今どのような状況にあるのかをお知らせします。

市の財政状況について

基金は38億4,175万6千円増、市債は167億223万4千円減

限られた財源の中、徹底した事務事業の見直しによる経費の削減や、国及び県の補助金並びに有利な交付税措置のある市債の活用など財源確保の努力を徹底したことで、市の財政状況はさらに健全な状態にあります。

基金残高

基金（預貯金）については、ふるさと納税寄附金額の増加などに伴い、平成28年度決算では164億9,786万7千円だったものが、**38億4,175万6千円増額**させることができ、令和6年度決算では203億3,962万3千円となりました。基金残高を市民一人あたりに換算すると約30万5千円になります。

市債残高

市債（借入金）については、必要な公共施設及びインフラ整備を行うときに発行しますが、事業の優先度を見極め積極的に国や県の補助金などを活用し取り組んだことで、市債の発行抑制が図られ、平成28年度決算では690億195万9千円だったものが、**167億223万4千円減少**させることができ、令和6年度決算では522億9,972万5千円となりました。市債残高を市民一人あたりに換算すると約78万5千円となります。

一般会計 基金（預貯金）現在高の状況

基金名	平成28年度末	令和6年度末	増減額
財政調整基金	39億3,912万4千円	37億3,335万1千円	△2億577万3千円
減債基金	17億8,959万7千円	11億1,992万円	△6億6,967万7千円
特定目的基金			
公共施設整備等基金	35億7,003万4千円	23億1,474万7千円	△12億5,528万7千円
地域振興基金	48億8,395万1千円	50億8,334万1千円	1億9,939万円
まちづくり基金	2億3,700万8千円	60億1,866万6千円	57億8,165万8千円
その他	20億7,815万3千円	20億6,959万8千円	△855万5千円
基金現在高	164億9,786万7千円	203億3,962万3千円	38億4,175万6千円

基金とは、家計で言うと預貯金のことです。財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するとともに、予期しない収入の減少や支出の増加に備えるための基金です。特定目的基金は、特定の目的に使用するため資金を積み立て、必要に応じて取り崩しを行う基金です。

令和6年度は、49億8,262万3千円を取り崩しましたが、51億5,748万円を積み立てたため、1億7,485万7千円増加しました。

市全体 市債（借入金）現在高の状況

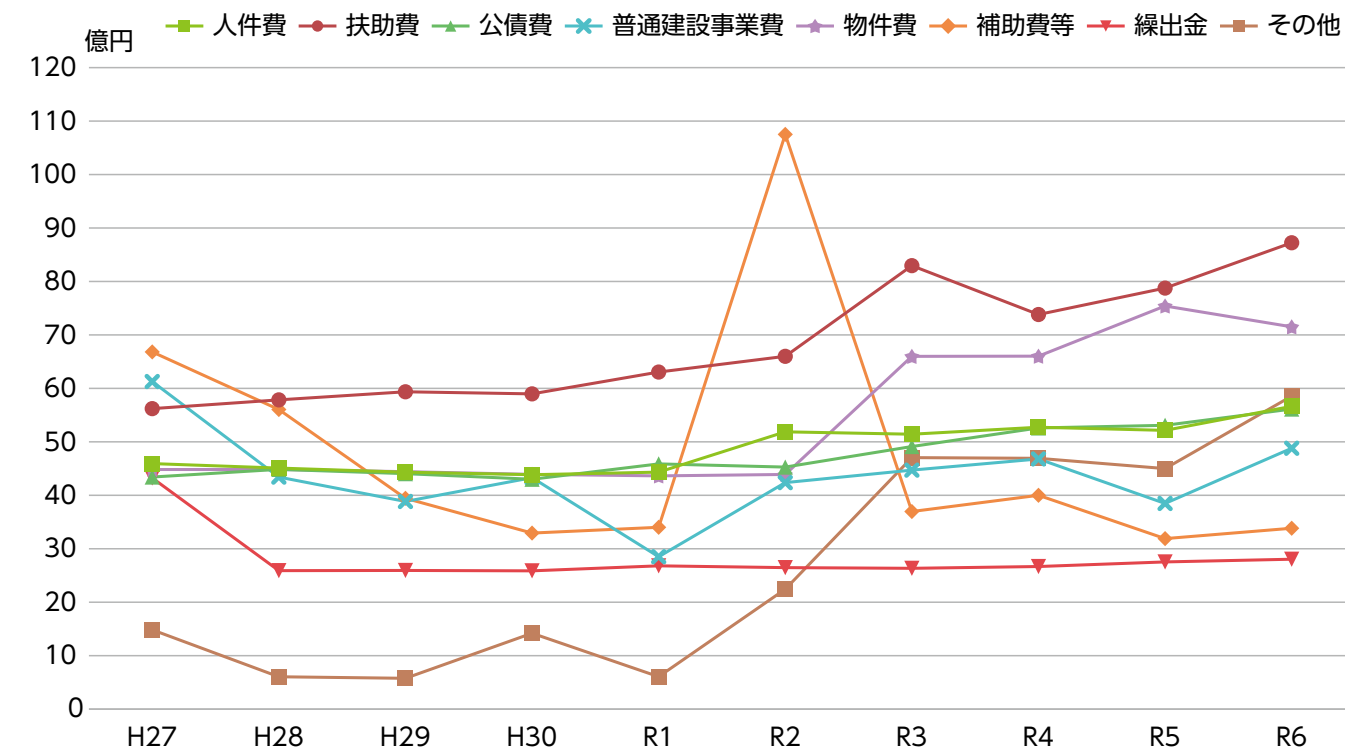
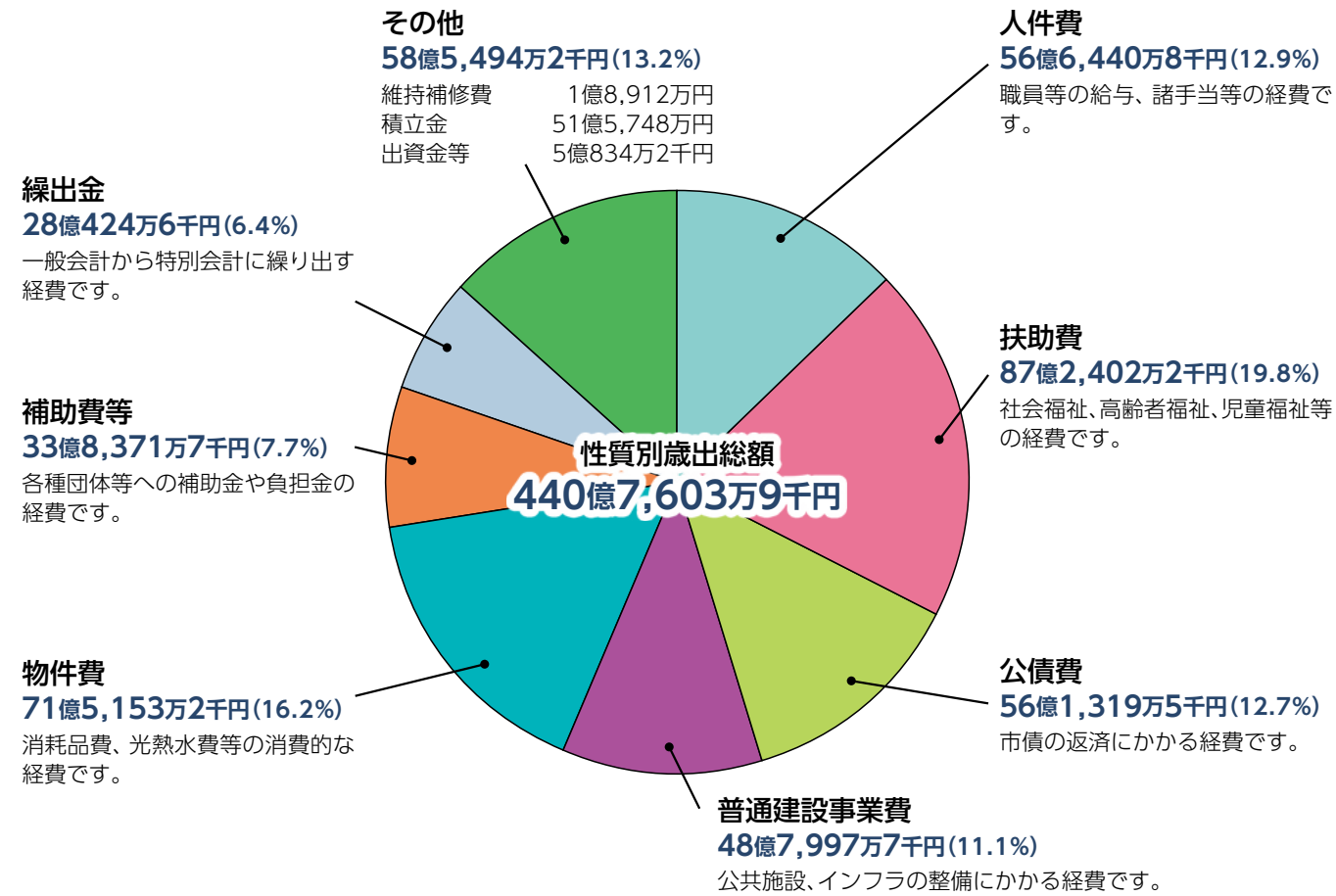
会計名	平成28年度末	令和6年度末	増減額
一般会計	437億3,430万2千円	360億5,974万2千円	△76億7,456万円
うち合併特例債	200億994万6千円	150億3,650万2千円	△49億7,344万4千円
うち臨時財政対策債	159億9,642万7千円	108億8,623万2千円	△51億1,019万5千円
公営企業会計	252億6,765万7千円	162億3,998万3千円	△90億2,767万4千円
上水道	87億4,930万9千円	67億64万4千円	△20億4,866万5千円
簡易水道	1,240万5千円	1,308万7千円	68万2千円
下水道	162億1,989万3千円	94億3,140万4千円	△67億8,848万9千円
農業集落排水	2億8,605万円	9,484万8千円	△1億9,120万2千円
市債現在高合計	690億195万9千円	522億9,972万5千円	△167億223万4千円

市債には、公共施設及びインフラの整備に当たって、資金の借入をすることにより、後年度の償還を通じて、将来その施設等を利用する人にも、建設費用を公平に負担していただくという、世代間の負担の公平性を保つ役割があります。

令和6年度の現在高は522億9,972万5千円で、昨年度に引き続き減少しました。

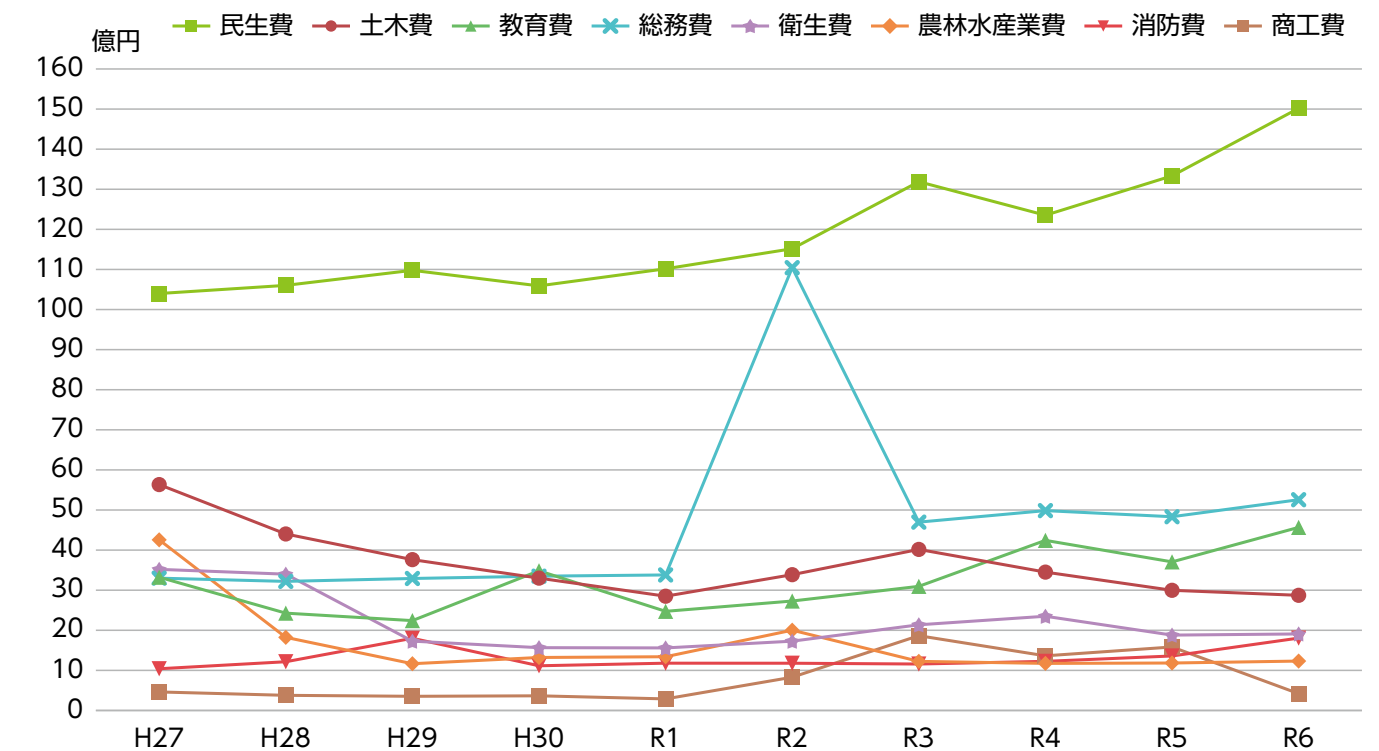
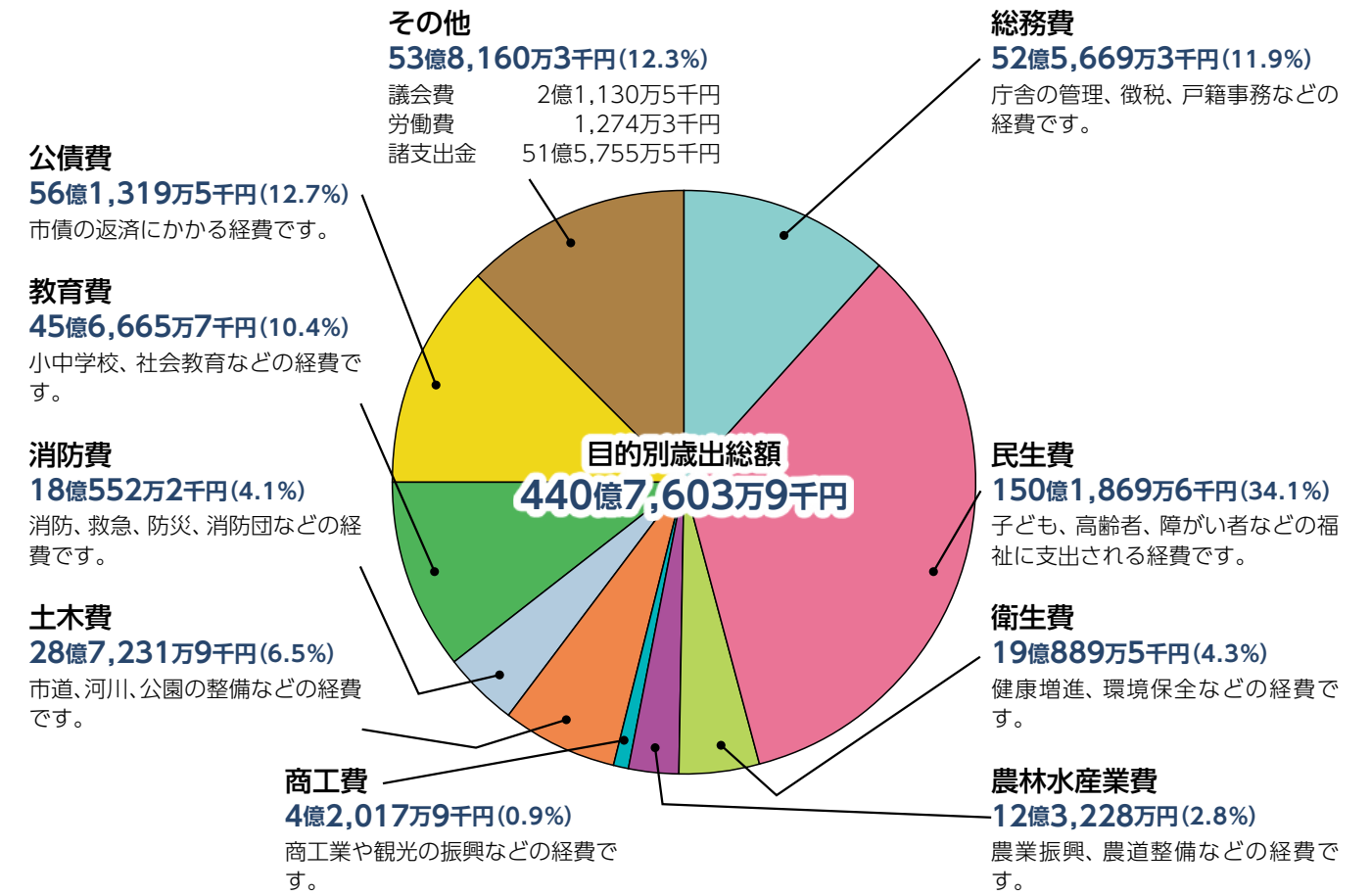
一般会計 歳出の内容（性質別）

性質別歳出とは、経費の経済的性質に着目して歳出を分類したもので、年度別の比較や他の自治体との比較、分析に用いられます。令和6年度は扶助費が87億2,402万2千円で、物価高騰対策による定額減税補足給付金給付事業などを実施したことにより、令和5年度より8億4,792万8千円増加しました。また、普通建設事業費が48億7,997万7千円で、御坂中学校校舎等改築事業などの実施により、令和5年度より10億3,252万3千円増加しました。



一般会計 歳出の内容（目的別）

歳出を目的別にみると、最も高額となったのは民生費150億1,869万6千円で、主な要因として、定額減税補足給付金給付事業4億9,754万3千円、なごみの湯改修事業3億3,127万円、春日居地域子育て支援センター整備事業1億8,129万8千円などを実施したことにより、令和5年度より16億8,428万1千円増加しました。歳出総額は440億7,603万9千円となり、市民一人あたりに換算すると約66万1千円となります。



令和6年度 公営企業会計の決算状況

令和6年度の公営企業会計の決算状況について、市民の皆様が使用して納めていただいた水道料金、下水道使用料等がどのように使われ、また、各会計が今どのような状況にあるかをお知らせします。

水道事業会計

収益的収入および支出				資本的収入および支出			
収 入		支 出		収 入		支 出	
営業収益	13億347万1千円	営業費用	15億4,627万9千円	企業債	1億2,040万円	建設改良費	3億1,873万2千円
営業外収益	4億8,378万3千円	営業外費用	1億2,263万2千円	出資金	6,826万3千円	企業償還金	4億5,605万4千円
特別利益	735万8千円	特別損失	260万1千円	負担金	5,920万2千円		
収入合計	17億9,461万2千円	支出合計	16億7,151万2千円	収入合計	2億4,786万5千円	支出合計	7億7,478万6千円

春日居地区温泉給湯事業会計

収益的収入及び支出				資本的収入及び支出	
収 入		支 出		収 入	支 出
営業収益	6,046万1千円	営業費用	5,849万1千円	収入なし	支出なし
営業外収益	578万9千円	営業外費用	235万7千円		
		特別損失	67万3千円		
収入合計	6,625万円	支出合計	6,152万1千円		

公共下水道事業会計

収益的収入及び支出				資本的収入及び支出			
収 入		支 出		収 入		支 出	
営業収益	7億1,440万3千円	営業費用	16億7,350万円	企業債	3億4,570万円	建設改良費	6億439万2千円
営業外収益	12億920万2千円	営業外費用	1億7,476万5千円	出資金	4億1,082万8千円	企業償還金	10億9,774万6千円
特別利益	20万7千円	特別損失	278万3千円	負担金	1億2,979万9千円		
				補助金	8,025万円		
収入合計	19億2,381万2千円	支出合計	18億5,104万8千円	収入合計	9億6,657万7千円	支出合計	17億213万8千円

簡易水道事業会計

収益的収入及び支出				資本的収入及び支出			
収 入		支 出		収 入		支 出	
営業収益	375万円	営業費用	2,819万4千円	出資金	118万1千円	企業償還金	232万円
営業外収益	2,969万8千円	営業外費用	11万1千円				
		特別損失	1万3千円				
収入合計	3,344万8千円	支出合計	2,831万8千円	収入合計	118万1千円	支出合計	232万円

農業集落排水事業会計

収益的収入及び支出				資本的収入及び支出			
収 入		支 出		収 入		支 出	
営業収益	844万1千円	営業費用	5,092万8千円	出資金	2,807万円	企業償還金	2,807万円
営業外収益	4,900万円	営業外費用	221万2千円				
		特別損失	114万2千円				
収入合計	5,744万1千円	支出合計	5,428万2千円	収入合計	2,807万円	支出合計	2,807万円

※資本的収入が支出に不足する額は、補てん財源等で措置しました。

・収益的収入及び支出…各事業を運営していくための施設の維持管理や人件費等の会計
・資本的収入及び支出…資本を形成するための工事や大型備品等の更新のための会計

財政の健全度を判断する指標を公表します

財政健全化判断比率とは、財政健全化法により算定・公表が義務付けられている、市町村の財政が健全かどうかを判断する指標です。主な指標としては、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標があります。

指 標		算定結果 ()内は前年度数値		早期健全化 基準	比率の説明
健全化判断比率	実質赤字比率	— (—)	一般会計は黒字であったため、数値は表記されませんでした。	12.50%	一般会計の赤字額の程度を市の財政規模と比較して指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。
	連結実質赤字比率	— (—)	全ての会計において黒字であったため、数値は表記されませんでした。	17.50%	一般会計、特別会計及び公営企業会計の赤字額や黒字額を合算して、市全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。
	実質公債費比率	7.5% (7.5%)	標準財政規模に対する負債返済の割合が7.5%となり、前年度と同様の数値となりました。	25.0%	一般会計の借入金の返済額と公営企業会計や一部事務組合の借入金の返済金のうち、一般会計から支出されたと認められる額の合計額を市の財政規模と比較して指標化し、資金繰りの安全度を示す比率です。
	将来負担比率	— (—)	将来負担額から充当可能財源等を引いた「将来負担すべき実質的な債務」は、数値がマイナスとなることから、前年度同様、将来負担比率は表記されませんでした。	350.0%	将来負担すべき額から市の貯金などを差し引いた額を、市の財政規模と比較して指標化し、今後の財政を圧迫する可能性を示す比率です。

実質公債費比率及び将来負担比率は、両指標とも前年度と比較し、同様の数値となりました。将来負担比率については、合併特例債や臨時財政対策債の償還が進んだことにより、指標は表記されませんでした。各指標とも早期健全化基準を大きく下回っているため、健全な財政状態が維持されていると判断できます。

特別会計の決算状況

特別会計	収入済額	支出済額
国民健康保険特別会計	76億1,916万円	76億1,328万4千円
介護保険特別会計	72億4,230万1千円	70億4,406万2千円
後期高齢者医療特別会計	21億5,706万2千円	21億3,926万円
境川観光交流センター特別会計	8,086万1千円	7,125万4千円
森林経営管理特別会計	2,026万7千円	1,335万7千円
恩賜県有財産保護財産区 管理会(9特別会計合計)	7,566万5千円	391万6千円
特別会計合計	171億9,531万6千円	168億8,513万3千円

市制施行20周年記念事業

6,573万4千円

市制施行20周年を記念した事業を行いました！

平成16年10月に笛吹市が誕生し、令和6年に市制施行20周年を迎えたことを記念して、エフエム富士の公開生放送や石和温泉花火大会でのドローンショー、元卓球日本代表の石川佳純さんを招きスポーツ講演会を開催するなど、23の事業を行いました。



エフエム富士公開生放送



石和温泉花火大会ドローンショー

都市公園施設長寿命化事業

1億3,961万6千円

みさか桃源郷公園の遊具を新しくしました！

安全かつ快適に公園を利用してもらうため、老朽化が進んでいたみさか桃源郷公園の遊具をリニューアルし、大型複合遊具を整備しました。子どもの成長に合わせて楽しんでもいただけるよう、乳幼児、幼児、児童を対象とした遊具エリアをそれぞれ整備しました。



春日居地域子育て支援センター整備事業

1億8,129万8千円

新たな子育て支援センターを整備しました！

春日居福祉保健センター内を改修し、春日居子育て支援センターを整備しました。子育て支援に利用できる厨房や多目的スペースを設置したほか、センター内にはファミリーサポートセンター事業の事務局もあり、子育て支援の充実が図られました。



学童保育施設整備事業

3億1,330万6千円

御坂学童児童ひろばと 芦川学童保育クラブを整備しました！

御坂学童保育クラブの新たな施設となる「御坂学童児童ひろば」を整備しました。御坂学童保育クラブの施設が集約され、利用する児童にとって、より安全安心な保育環境となりました。また、芦川地区には、これまで学童保育クラブが設置されていなかったことから、小学校の体育館の一部を改修し、学童保育施設を整備しました。



芦川学童保育クラブ



御坂学童児童ひろば

石和中央テニスコート改修事業

2億8,831万4千円

石和中央テニスコートを改修しました！

利用者が安全安心にスポーツを楽しめるよう、人工芝の張替えを行ったほか、管理棟及び屋外トイレなどの施設の改修を行いました。

